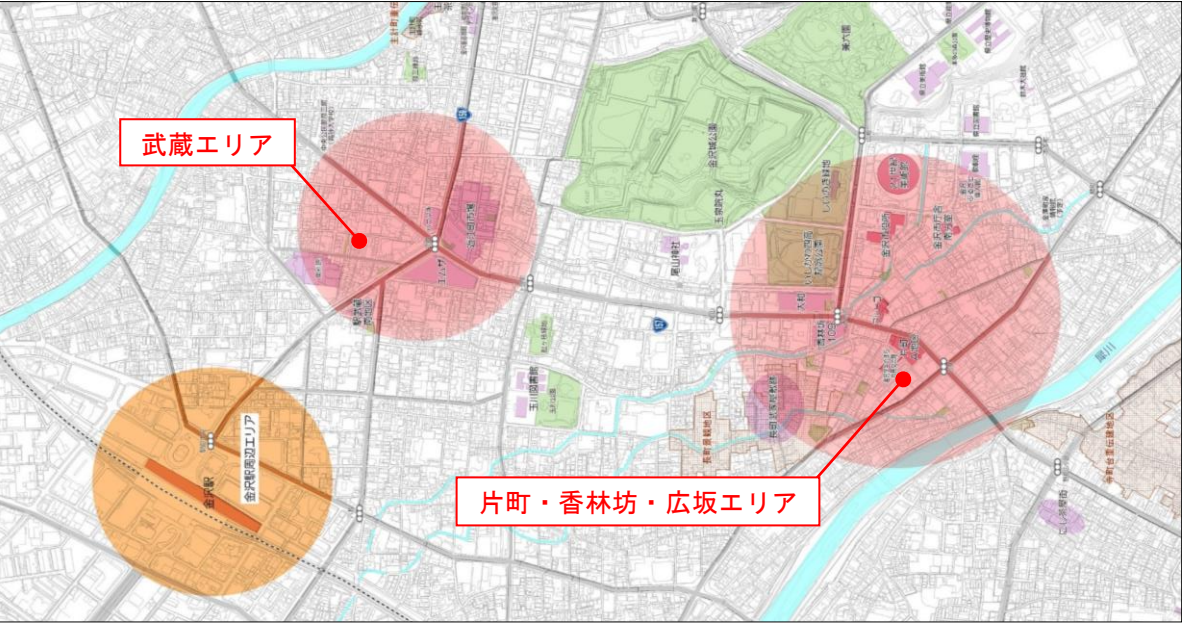


「金沢市中心市街地都市機能向上計画」のあらまし

1. 策定の目的

- 北陸新幹線の開業効果を継続的なものとしていくために、中心市街地における商業、業務、居住、観光や交通アクセス、回遊性などの都市機能を強化する
- 概ね20年間先を見据え、市民と行政が、将来の中心商業地のあるべき姿を共有し、効果的で効率的な実現策の展開を推進していく

2. 対象区域



3. 計画の要旨

(1) コンセプト

賑わいコアストリートから始める 金沢まちなか再構築
～来街者が求める都心を目指して～

(2) 主要構成要素

- 賑わいコアストリート**：営業時間帯の歩行者専用を基本とし、沿道には店舗等の賑わいを創出する施設が連続して立地
- 賑わいアクセスロード**：周辺の主要観光地等からの円滑なアクセス性を確保
- 改善・更新ゾーン**：安全性向上や賑わい創出に向けて、一体的な再整備を検討
- 保全・活用ゾーン**：整備済み施設や町家など既存の資源を活かして都市環境を形成

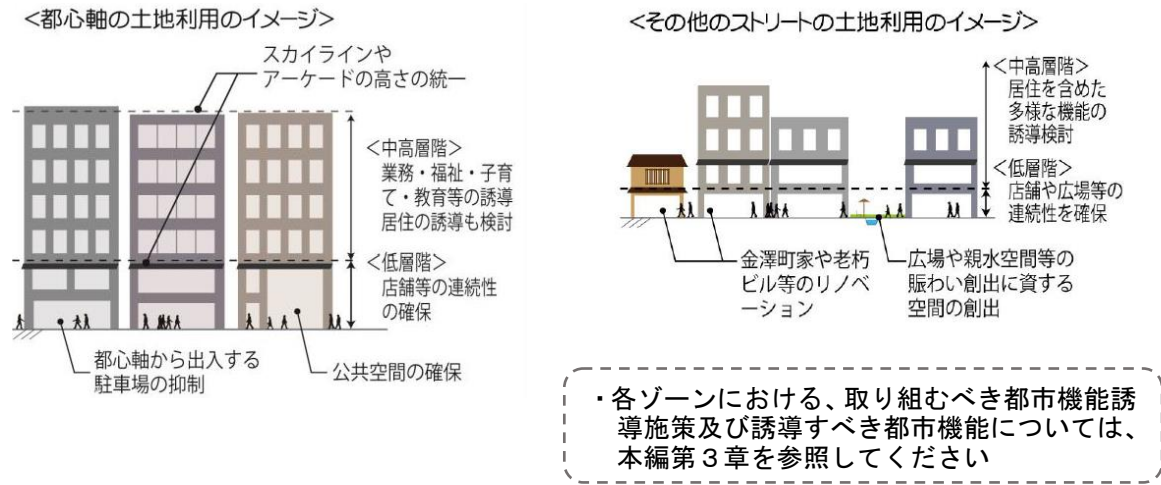
(3) 施策の体系

各エリアにゾーンを設定し、下表の施策区分により取り組むべき都市機能向上施策を提示

基本方針	安全で楽しく美しい都市空間づくり	安心して歩き憩える街路・広場づくり	まちなかへのアクセスを支える移動環境づくり	金沢固有の資源を活かした魅力づくり	まちなかを育てる仕組みづくり
施策区分	老朽建築物の再整備	歩行空間の充実（賑わいコアストリート）	駐車場の整備・再配置	城下町の都市構造の保全・活用	民間主導によるエリアマネジメントの促進
	都市機能の誘導	歩行・走行空間の充実（賑わいアクセスロード）	自転車利用環境の充実	河川や用水等の水辺を活かした賑わい空間の創出	遊休不動産や公的不動産の利活用の促進
	老朽インフラの再整備	まちなか広場の整備	公共交通の利用環境の向上	歴史的建築物の保全と活用	
	良好な景観の形成	ゆっくり滞在できる環境の整備	案内性・回遊性の向上		

(4) 土地利用について

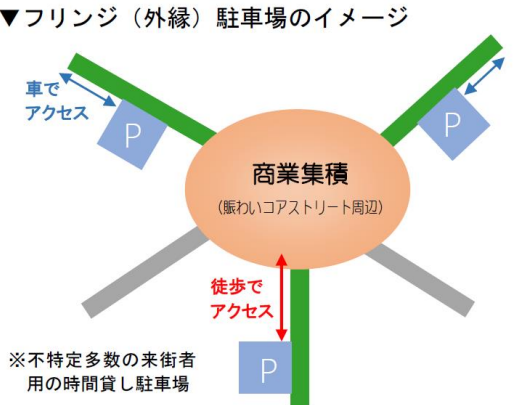
- 各エリアやゾーンの特性を踏まえ、居住者のライフステージやライフスタイルに配慮して居住機能の誘導を図る
- 賑わいコアストリートにおいては、都心軸沿いは2階まで、その他の道路沿いは1階まで店舗等を連続させ、その上階で居住機能の誘導を検討する



(5) フリンジ（外縁）駐車場の配置について

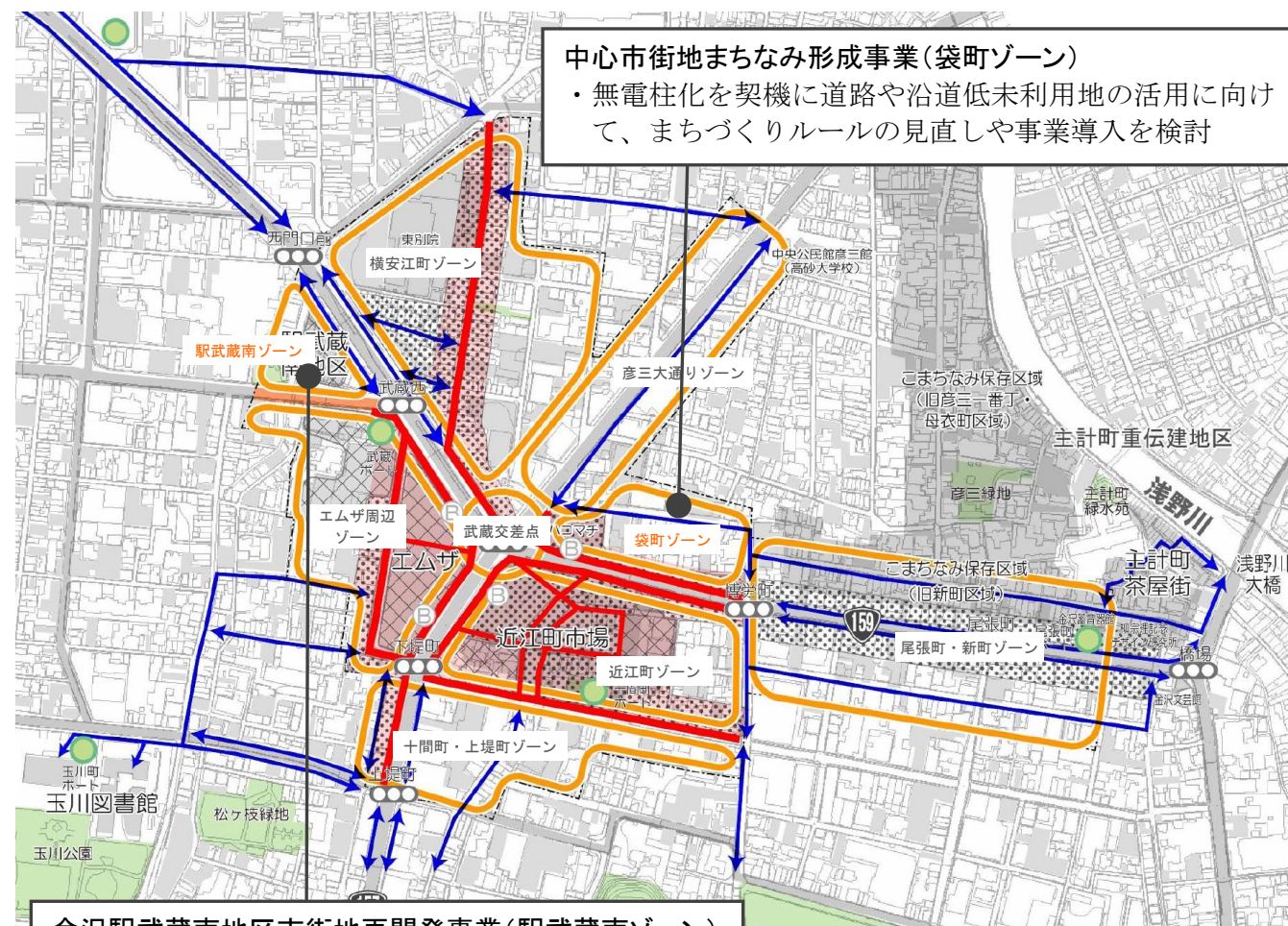
- 賑わいコアストリートの外縁に既存駐車場の再配置・集約化を推進する

各エリアにおけるフリンジ駐車場へのアクセス路線については、本編第3章を参照してください

















4. モデルゾーンにおける取組

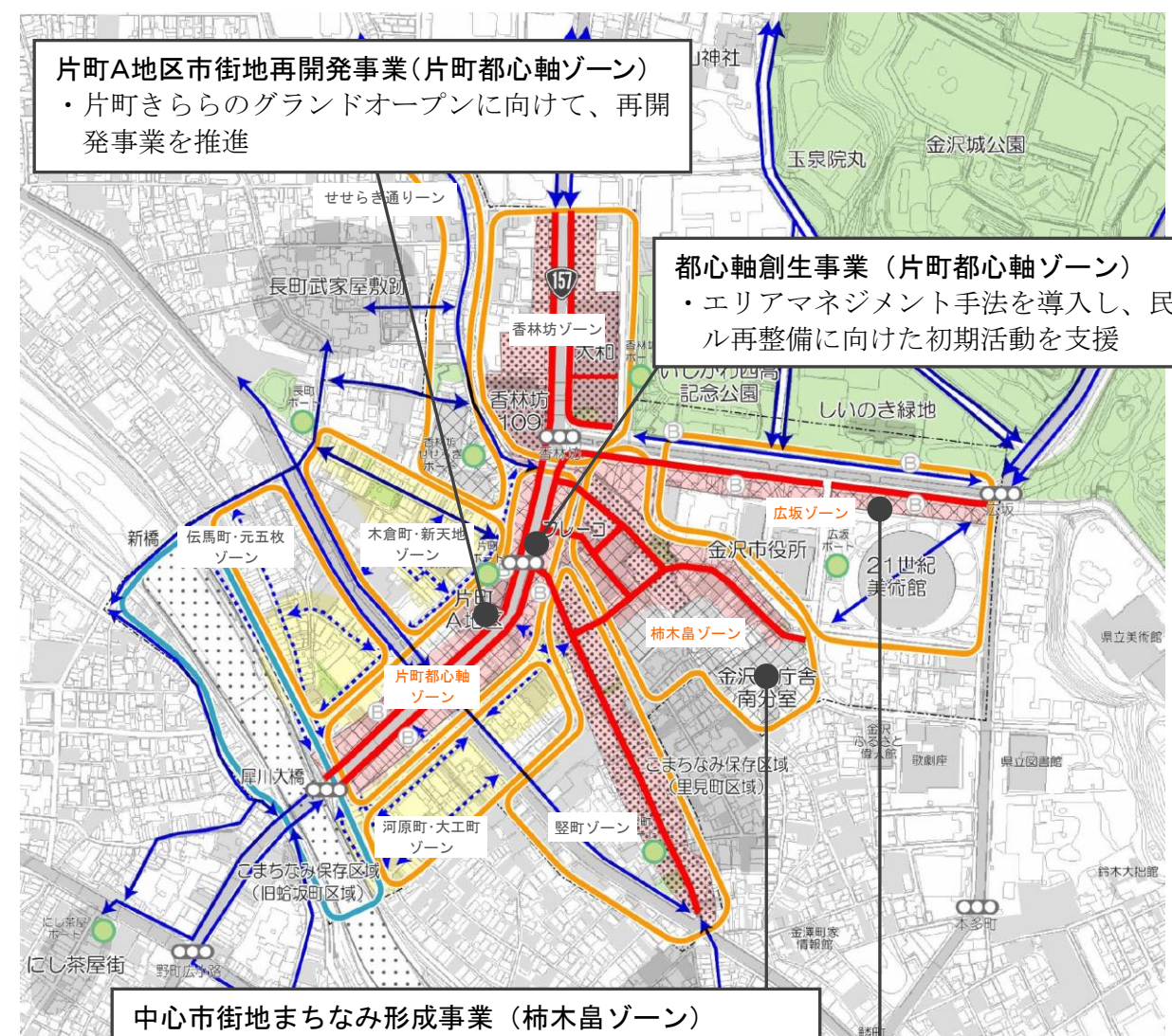
【武蔵エリア】



金沢駅武蔵南地区市街地再開発事業(駅武蔵南ゾーン)
・準備組合が設立された再開発事業を推進

凡例	
賑わいコアストリート	
賑わいアクセスロード	
(夜間歩行環境整備)	
改善・更新検討ゾーン	
保全・活用ゾーン	
金沢らしい夜の賑わい創出エリア	
河川空間の活用エリア	
バス停	
主要観光地・主要施設	
広場・緑地	
既存駐車場	
重伝建地区・景観地区	
こまちなみ保存区域	
対象範囲	

【片町・香林坊・広坂エリア】



片町A地区市街地再開発事業(片町都心軸ゾーン)
・片町きららのグランドオープンに向けて、再開
発事業を推進

・エリアマネジメント手法を導入し、民間老朽ビル再整備に向けた初期活動を支援

・賑わいある商業空間の創出を目指し、駐車場の集約再配置を視野に入れた一体的な都市改造に向けて地元とともに事業導入の可能性を検討

・乱開発を未然に防止するまちづくりルールへの見直しと沿道の建物や土地利用の改善に向けて事業導入を検討